

令和元年度 第6回庄内支部勉強会 活動報告

一症例検討会「心原性脳塞栓症を呈した症例～高次脳機能障害について」

日時：令和1年12月10日（火）19:00～20:30

会場：日本海酒田リハビリテーション病院

第6回庄内支部勉強会は、一症例検討会として日本海酒田リハビリテーション病院の久村菜央先生に心原性脳塞栓症を呈した症例とのその後の関わりについて報告して頂きました。

前回の症例検討会では急性期から回復期までの経過を追いながら、主に身体機能面や歩行自立を目標に据えた介入について意見を出し合いました。今回の症例検討会では、その後病棟内歩行自立し自宅退院に至ったものの、失行症状が残存したこと、自宅退院に向けてどのように関わるべきだったか、という振り返りの視点を中心にディスカッションを行いました。

本人がどこまでは理解できていてどこが理解できていないか、具体的にどのような場面で失敗してしまうのかなど、関わりの中で反応や行動を通して症状を見ていく必要があること、神経学的に考えたときにはどの段階でエラーが生じていると考えられるか、ADL介入は？、病棟との関わりは？など、様々な視点から意見が出されました。明確な治療法が確立されていない失行症ではありますが、PTとしてなにができるのか、PTだからこそできることがあるのではないかという意見もあり、高次脳機能障害を考えるととてもよい機会になったと感じています。お忙しい中、長期に渡って症例報告して下さいました久村先生、本当にありがとうございました。

今回の一症例検討会にて、今年度の庄内支部勉強会は最後となります。参加して下さった皆様、ありがとうございました。来年度も会員のレベルアップを目指して庄内支部で様々な勉強会を企画していきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

(文責：長谷部裕美)



